

## 福井県初の「機能性表示食品 飲料」を6月6日に新発売！

越前町の地下水と若狭町の紅映梅(べにさしうめ)を原料とする福井県初の機能性表示食品飲料「グッジョブ(good job)」発売の記者会見を開催しますので、取材をお願いします。

日時：平成30年6月6日(水)「梅の日」10:00～

場所：福井県食品加工研究所(〒910-0343 坂井市丸岡町坪ノ内1-1-1)



### <機能性表示食品飲料「グッジョブ(good job)」の特徴>

- ①越前町の地下水と若狭町の紅映梅(べにさしうめ)を原料とする清涼飲料水です。
- ②1本(500ml)当りクエン酸を2,700mg含有する機能性表示食品です。
- ③「本品にはクエン酸が含まれます。クエン酸は継続的な飲用で日常生活や運動後の疲労感を軽減することが報告されています。」という機能性を表示しています。
- ④飲料としては、福井県初の「機能性表示食品」です。
- ⑤梅のクエン酸の機能性を表示した商品としては、全国初の「機能性表示食品」です。
- ⑥平成30年1月4日に消費者庁に届け出を行い、2月28日に手続きが完了しました。
- ⑦「機能性表示食品」としての届け出番号は「C382」です。
- ⑧本商品は、カワイマテリアル株式会社(坂井町)が企画、食品加工研究所が協力、盛田株式会社(越前町)が製造、エコファームみかた社(若狭町)が販売します。
- ⑨希望小売価格は、税別190円(税込み205円)です。
- ⑩道の駅、自治体の売店、アンテナショップ、物産館、ドラッグストア、量販店に販売します。
- ⑪初年度の販売は、24本入り3,000ケース(72,000本)を見込んでいます。
- ⑫この商品の売上金の一部は、「若狭路自遊楽校」の活動に充てられます。

### <商品および、記者会見に関するお問い合わせ>

株式会社エコファームみかた

〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜59-13-1

(電話)0770-45-3100

(FAX)0770-45-0066

(メール)ecofarm1515@gmail.com

(ホームページ)http://benichu.net

(担当)新屋、藤本、兵庫

<補足説明>

- ①機能性表示食品とは、平成27年の食品表示基準により「国の定めるルールに基づき、事業者が食品の安全性と機能性に関する科学的根拠をなどの必要な事項を販売前に消費者庁長官に届け出れば、機能性を表示することができる」という食品。
- ②大きなポイントは、「安全性、機能性、適正な表示」の3つ。これらを含めて届出書類を消費者庁がチェックし、約2ヶ月の確認作業を経て届け出が完了した。
- ③この3年余りで、1270件以上が届け出されている。(トクホは27年間で1081件)
- ④市場規模は、300億円(27年)-1,000億円(28年)-1,700億円(29年)-4,000億円(30年)
- ⑤福井県では、サプリメント1件と本品の計2件のみ。(他県の状況は資料の通り)
- ⑥クエン酸について「1日当り2,700mgを継続的に摂取すると日常生活や運動後の疲労感を軽減する」ことが文献で報告されていることにまず着目した。
- ⑦クエン酸は、レモン(6%)等の柑橘類に多く含まれているが、梅(4%)にも多く含まれていることから商品化を企画。
- ⑧若狭町の紅映梅(べにさしうめ)は、全国的にも福井でしか生産されていないためこの品種を選定。
- ⑨前身のハイピース社時代から、その地下水の美味しさと生産管理体制に定評のある越前町(旧朝日町)の盛田株式会社に生産を依頼した。
- ⑩味は、盛田株式会社のレシピを元に、食品加工研究所にアドバイス、ご指導を頂き、クエン酸を大量に含みながらも、酸っぱ過ぎず、また甘過ぎず、ごくごく飲めて後口も爽やかな「はちみつ梅ウォーター」を目指した。
- ⑪今年9月29日～10月15日の「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」の前の梅の収穫時期に間に合うように商品開発を行い、届け出を完了し、梅の日(6/6)に記者発表となった。
- ⑫県内の道の駅や自治体の売店をはじめ、アンテナショップ、物産館、ドラッグストア、量販店への販売を目指す。
- ⑬工場や物流センター、コールセンター等を持つ社員の多い企業にも積極的に紹介。
- ⑭「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」に向けての会議や各種セレモニーでの使用もご提案し、全国からの選手や応援団にも「福井県発(初)の機能性表示食品飲料」を強くアピールして行きたい。

以上